

第4回 公共サービス改革法に基づく民間委託調査（農林水産省所管）  
の評価等に関する検討会 議事概要

- 1 日 時 平成21年3月13日（金） 14:00～16:00
- 2 場 所 農林水産省統計部第1会議室（北別館3階、ドア番号314）
- 3 出席者  
（委員） 椿広計座長、助川正文委員、安倍澄子委員  
（事務局） 統計部統計企画課、経営・構造統計課、生産流通消費統計課
- 4 議 題  
（1）平成21年度市場化テスト2調査（農林水産省所管）の民間競争入札実施要項（案）  
について  
（2）平成20年度市場化テスト3調査（農林水産省所管）の実施状況について  
（3）その他
- 5 議事概要  
事務局から、平成21年度市場化テスト2調査の民間競争入札実施要項（案）について  
説明、質疑を経た後、両調査の民間競争入札実施要項（案）について了解を得た。  
その後、事務局から、平成20年度市場化テスト3調査の実施状況について報告した。

委員からの主な質疑は以下のとおり。（○：委員からの発言、→：事務局からの発言）

【質 疑】

（ア）農業物価統計調査

- 組織の専門性については、必須項目で点差がつかないのであれば、加点項目  
にして的確に評価した方がよい。また、加点項目とすることで間口が広がるこ  
とは良い。
- 農業物価統計調査における専門性は具体的に何か。  
→ 調査は農産物と生産資材の多義にわたる品目が対象となっており、かつ、農  
産物は規格等が、生産資材は製品の種類等がそれぞれ複雑であることから、専  
門用語等に対する理解がないと調査品目の価格を正確に把握・審査することが  
できない。また、調査対象の方はJAや集出荷団体等であり、そのような方と  
会話する必要があるため農業に対する知識が必要と考えている。

（イ）内水面漁業生産統計調査

- 内水面漁業生産統計調査における専門性は具体的に何か。  
→ 調査は自計申告が原則であるが、調査票の記入値についての妥当性を把握す  
る必要があるため、内水面漁業の専門性は重要であると考えている。
- 評価項目に誤配を防ぐとあるが、そのようなことが起こるのか。  
→ 内水面漁業経営体は、廃業、休業等が多く誤配の可能性が高いため、評価項  
目に加えたところ。

(ウ) 2 調査共通

- 全国的で調査対象が多い調査であると思われるため、調査員が確実に確保できる点を必須項目として、業務の専門性は的確に評価するため、加点項目とすることは良いと思われる。
- データチェックの責任者の配置と確実なデータチェックの実施について、適切に評価できるよう民間競争入札実施要項(案)に記述を追加する必要があると思われる。

以上 -